

「名作文庫」通信



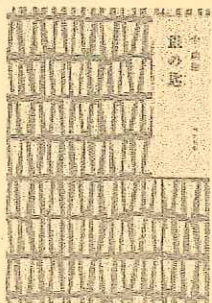
特集「 戯曲 」

2015年

春号

## 新しく入った本

「名作文庫」に新しく入った本をご紹介します。以前、ご紹介できなかった本も含まれております。一部、保存庫に所蔵されているものがあります。1階カウンターにてご請求ください。



### 銀の匙

【著】中 勘助 【刊】角川文庫

【資料番号】1011995915

書齋の小箱に昔からある銀の匙。それは、臆病で病弱な「私」が口に薬を含むことができるよう、伯母が探してきてくれたものだった。明治時代の東京の下町を舞台に、成長していく少年の日々を描いた自伝的小説。



### 老人と海

【著】ヘミングウェイ【訳】小川 高義

【刊】光文社古典新訳文庫【資料番号】1012104699

数カ月続く不漁のために周囲から同情の視線を向けられながら、独りで舟を出し、獲物がかかるのを待つ老サンチャゴ。やがて巨大なカジキが仕掛けに食らいつき、3日にわたる壮絶な闘いが始まる…。



### にんじん

【著】ジュール・ルナール 【訳】高野 優

【刊】新潮文庫 【資料番号】1012106223

髪の毛が赤くてそばかすだらけのルピック家の3番目の男の子は、みんなから「にんじん」と呼ばれていた。あだなをつけたのはお母さん。にんじんは、母親からのいろいろなないじわるにも負けず、成長していき…。自伝的小説。

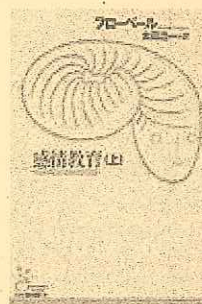


### 棕鳥通信（上）

【著】森 鷗外 【編注】池内 紀

【刊】岩波文庫 【資料番号】1011995154

世紀の発見からゴシップまで！森鷗外が、膨大なヨーロッパの新聞・雑誌をもとに、激動の20世紀初頭を独自のセンスで切り取り報じる。上は、1909年1月16日発～1910年7月7日発の棕鳥通信などを収録。



### 感情教育（上）

【著】フローベール 【訳】太田 浩一

【刊】光文社古典新訳文庫 【資料番号】1012107502

法律を学ぶためパリに出た青年フレデリックは、帰郷の船上で美しい人妻アルヌー夫人に心奪われる。パリでの再会后、美術商の夫の店や社交界に出入りし、気を惹こうとするが…。19世紀フランス恋愛小説の最高傑作の新訳。



### 菜根譚

【著】湯浅 邦弘 【刊】角川ソフィア文庫

【資料番号】1012108559

「一步を譲る」「人にやさしく己に厳しく」など、人づきあいの極意、治世に応じた生き方、人間の器の磨き方を明快に説いた「菜根譚」。現代人の心に響く名言を精選し、簡潔な現代語訳、総ルビの訓読文、解説を加えた入門書。



### 小公女

【著】フランシス・ホジソン・バーネット

【訳】畔柳 和代 【刊】新潮文庫

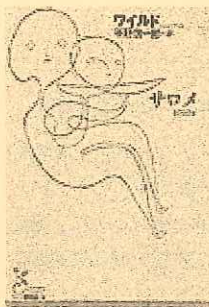
【資料番号】1012109375

父親と離れロンドンの学校で暮らすことになった少女セーラ。しかし、破産した父親の死によって、セーラは天涯孤独の身になり、召使いとしてこき使われるようになるが…。苦境に負けない少女を描く永遠の名作。

## 戯曲

小説とは違った、戯曲でしか味わえない創造できる楽しみ。名作文庫にある作品をご紹介します。

戯曲とは、劇の上演のために書かれた脚本。また、その形式で書かれた文学作品。セリフを主体とし、必要に応じて舞台上の動き、しぐさ、装置、音楽、照明などに関する指定が加わる。



### サロメ

【著】ワイルド 【訳】平野 啓一郎

【刊】光文社古典新訳文庫 【資料番号】1011889522

継父ヘロデ王の御前で舞ってみせた王女サロメが褒美に求めたものは、囚われの美しき預言者ヨカナーンの首だった…。少女の無垢で残酷な激情と悲劇的結末を鮮烈に描いた戯曲作品。



### オイディプス王

【著】ソポクレス 【訳】藤沢 令夫

【刊】岩波文庫 【資料番号】1011224191

知らずに実の父を殺し生母を妻とし、ついには自ら両眼をえぐり放浪の旅にでる「オイディプス王」。反逆者である兄の葬礼を行い石牢に幽閉された「アンティゴネ」…。ギリシア三大悲劇詩人の一人ソポクレスの戯曲2編を収録。



### ヴェニスの商人

【著】シェイクスピア 【訳】中野 好夫

【刊】岩波文庫 【資料番号】1010616777

ヴェニスの若き商人アントーニオーは、友人のために自分の胸の肉1ポンドを担保に悪徳高利貸しシャイロックから借金した。借金返済の当てがなくなった彼は、胸の肉を切りとらねばなくなるが…。



### 人形の家

【著】イブセン 【訳】原 千代海

【刊】岩波文庫 【資料番号】1011800560

両親と弟、犬といっしょに幸せに暮らしていた小さなオランダ人形のトチーでしたが、ある日思いがけない事件がおこる…。真実という大切な問題を人形の家にとくした、美しい物語。1978年初版の新版。



### 友達・棒になった男

【著】安部 公房 【刊】新潮文庫

【資料番号】1010140224

平凡な男の部屋に闖入してきた9人の家族。善意に満ちた笑顔で隣人愛を唱え続ける彼らの真意とは？ どの黒い笑いの中から他者との関係を暴く「友達」等、斬新な感性で“現代”を鋭く照射する安部公房の代表的戯曲3編を収録。



### かもめ

【著】チーホフ 【訳】浦 雅春

【刊】岩波文庫 【資料番号】1011824404

19世紀末ロシアを舞台に、作家志望の男と女優を夢見る女の恋を描く。100年以上の時を経て、なお世界各地で愛され続けている35歳のチーホフが“恋だらけの物語”として構想した戯曲。



### ゴドーを待ちながら

【著】サミュエル・ベケット

【訳】安堂 信也、高橋 康也

【刊】白水Uブックス 【資料番号】1011958772

田舎道。1本の木。夕暮れ。エストラゴンとヴラジーミルという2人組のホームレスが、救済者ゴドーを待ちながら、ひまつぶしに興じている。そこにやってきたのは…。不条理演劇の代名詞でもあるベケットの傑作。

## あの人、あの一言。

名作に登場する忘れがたい人物やセリフ、そして文章をピックアップ。  
心の糧に、座右の銘に、雑談の種に。

ああ、自分のようなものでも、どうかして  
生きたい

島崎藤村 「春」  
新潮文庫

教え子である勝子との恋はうまくいかず、家のしがらみに苦しみ、そして先輩であり友人でもある青木は自殺をしてしまう。一切を捨て赴任先の仙台へ向かう途中で、主人公・岩本捨吉が脳裏に浮かべる言葉。

若者たちが理想と現実悩み苦しみながら、生きる道を求めようとする姿を描く著者初の自伝的小説。

「名作文庫」で読める島崎藤村の作品

春 【刊】新潮文庫 【資料番号】1010140281

藤村詩集 【刊】新潮文庫 【資料番号】1010154357

破戒 【刊】岩波文庫 【資料番号】1011110473

桜の実の熟する時 【刊】新潮文庫 【資料番号】1010154365

夜明け前 第1部上 【刊】岩波文庫 【資料番号】1011799978

夜明け前 第2部下 【刊】岩波文庫 【資料番号】1011189022

## 島崎 藤村

詩人、小説家。明治5年、長野県第八大区五小区馬籠村に生れた。明治20年、数え年16歳で明治学院普通学部本科に入り、キリスト教の感化を受け、旧師木村熊二の高輪台町教会で受洗した。明治24年、数え年20歳で学業を卒え、翌年、明治女学校の高等科教員となって教壇に立った。しかし教え子佐藤輔子に恋情をおぼえ、家庭の事情や自責の念から教壇を離れた後は、教会を脱して関西漂泊の旅に出た。北村透谷らとともに、「文学界①」を創刊したのもこのころになる。漂泊から帰った後は再び教師となるが、透谷の自殺やルソーの「告白」などの影響から、次第に文学についての自得を深めていく。明治29年、数え年25歳で東北学院の作文教師となって仙台に赴任する。このころから詩作にいちじるしい進境をみせ、明治30年、第一詩集「若菜集」を出した。明治32年には明治女学校出身の秦フユと結婚。明治39年、藤村は部落出身の教師の不合理な処遇を知り、その教師の苦しみに自己の内面的自我の悩みを仮託して、長編「破戒」を完成させる。明治41年、第二の長編「春」の構想に従った。「破戒」の主人公にみた「青春時代の悲哀」を「文学界①」仲間の青春群像において描かんとするものであり、ツルゲーネフ・メレンジコフスキーに拠って彼らに先駆者の姿を見るものである。日清戦争前後の出来事を描きながら、日露戦争後の思想的動揺のなかに新日本の意識と意義とを確認するものである。昭和4年、足かけ7年間を費やし「夜明け前」を完成させる。昭和18年、最後の大作「東方の門」に着手したが、第三章の途中で倒れた。享年72歳。

参考文献「新潮日本文学辞典」





## いまこそ教養、「名作文庫」。

下井草図書館だけにある特別な本棚、「名作文庫」。

一度は読んでおきたい古今東西の名著名作を  
ハンディなサイズの文庫版・新書版で集めた本棚です。  
同じ作者の同じ作品がいろいろな本でそろっているの、

1冊ごとに違う解説、違う注釈、違う翻訳に  
触れることができます。

題名だけしか聞いたことなかったあの作品、  
いまこそ手にとってご覧になりませんか？

よりディープに楽しみたいあなたには

『名作文庫 蔵書紹介』『いまこそ名作！読書会』

実は「名作文庫」の一部は書庫にしまわれています。

でも『名作文庫 蔵書紹介』を見れば大丈夫！

書庫の本のこともバッチリ載っています。

読みおわって熱い感動を誰かに語りたいたい…と思ったら、  
『いまこそ名作！読書会』にその思いを投稿しましょう！  
投稿レビューは常時公開！同じ思いの誰かがいるかも。

季刊「名作文庫」通信

3・6・9・12月発行

杉並区立下井草図書館